

資料10

J A Sの仕組みを活用した日本産品の 品質・特色を担保する制度の検討について

平成28年6月29日 農林物資規格調査会

JASの仕組みを活用した日本製品の品質・特色を担保する制度の検討

農林水産省
食料産業局

政府・与党において、食品産業・農林水産業の輸出力強化に向け、JASの仕組みを活用した日本製品の品質や特色を担保する制度の創設を検討するとされたところ。

【論点整理を踏まえた緊急提言】平成28年5月11日、(自)農林水産省太方針策定 P T

IV-3. 日本製品の品質を担保する仕組み（輸出JAS） や、国際的に通用する日本発の食品安全管理規格の創設を、これを支える人材の育成

【農林水産業の輸出力強化戦略】平成28年5月19日、農林水産業・地域の活力創造本部とりまとめ

Ⅱ 民間の意欲的な取り組みを支援する「7つのアクション」と意欲ある農林漁業者や食品事業者に届ける「2つのメッセージ」

1. 7つのアクション

■ 日本産の「品質の良さ」を世界に伝える（日本の「強み」をアピール）

○ J A S の仕組みを活用し、海外の消費者・事業者に対して日本製品の品質や特色を担保する制度の創設を検討します。

Ⅲ 農林水産業の輸出力強化に向けた具体的な戦略

第1 民間の意欲的な取り組みを支援する

1. 市場を知る、市場を耕す（ニーズの把握、需要の掘り起し）

（2） プロモーションを統一的、戦略的に行う

・ J A S の仕組みを活用し、海外の消費者・事業者に対して日本製品の品質や特色を担保する制度の創設を検討

【日本再興戦略2016】平成28年6月2日閣議決定

3. 攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化

（2）新たに講ずべき具体的施策

iii) 輸出力の強化

2) 日本食材の品質を世界にアピールするための、

・ 日本農林規格（J A S）の仕組みを活用した日本製品の品質や特色を担保する制度の検討

「日本製品の品質・特色の担保」は、
農林物資の品質・特色についての規格を農林水産大臣が定め、
当該規格への適合性を国際的に通用する手続により認証するJASの仕組みの本来の機能

今後の検討方向

JASの仕組みを活用して、我が国の食品・農林水産物を効果的にアピールし得るよう、次について検討が必要。

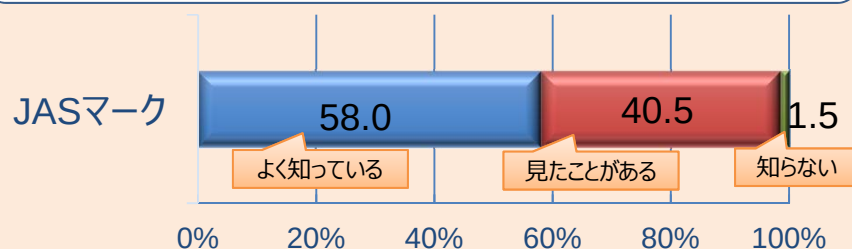
- ① 日本製品の強みをアピールできる規格の制定
- ② 一見して担保されている内容が分かるマークの導入

他方、JASマークについては、国内において高い認知度を有する一方で、食品のJAS規格による格付率は低下傾向。この要因としては以下が考えられる。

- ① JASマークが担保している価値基準と市場のニーズとの間にミスマッチが生じている
- ② JASマークによって担保されている価値基準の内容がマークを見ただけでは分かりにくい

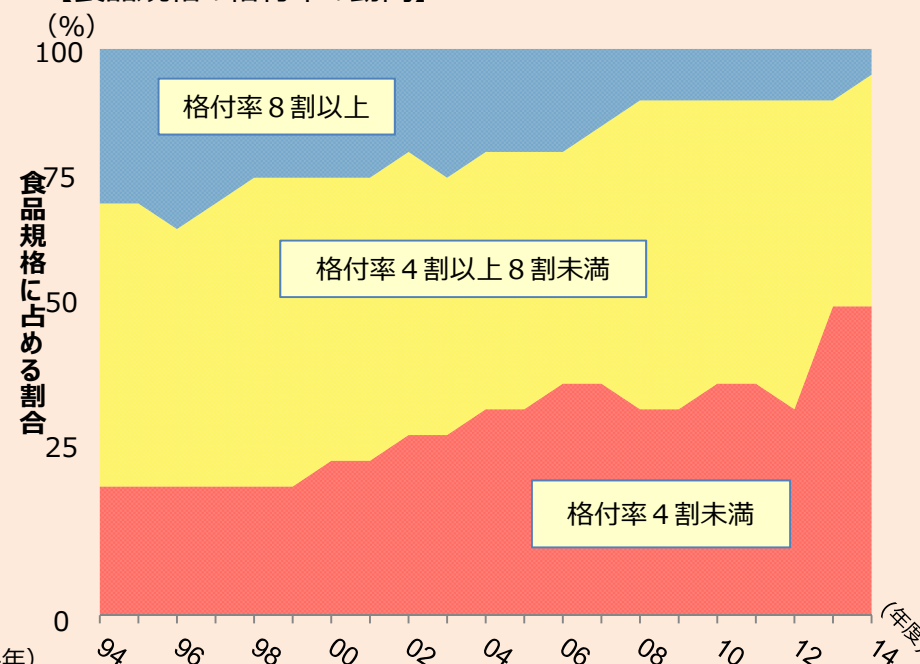
【JASマークの認知度】

・国内消費者を対象としたアンケート調査では、ほぼ全員がJASマークを「よく知っている」又は「見たことがある」と回答



出典：(株)NTTデータ経営研究所「食品の品質情報に関する消費者意識調査」(2014年)

【食品規格の格付率の動向】



- ① どのような規格を定めるか
- ② JASマークの様式や表示をどうするか

} について検討が急務

海外取引も念頭に置きつつ、JASが十分に活用されるよう、そのあり方について検討